

京都マラソン 2023 大会の総括 及び 2024 大会の概要について（報告）

【 2023 大会の総括 】

1 開催結果の概要

	2023	前回（2020）
日 時	令和5年2月19日（日）※2月第3日曜日 8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了	令和2年2月16日（日） ※同左
天 気	9時（スタート会場） 雨、12.0℃、湿度80% 15時（フィニッシュ会場）くもり、11.0℃、湿度60%	雨 12.6℃、80% 雨 13.3℃、100%
出走者	マラソン 15,972人 ペア駅伝 196人 車いす競技 9人 } 計 16,177人 (完走者 14,880人、完走率 92.0%)	15,211人 (完走者:14,283人 完走率:93.9%)
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園内）～ 平安神宮前（42.195km） （日本陸上競技連盟、世界陸上競技連盟及び国際マラソン・ ロードレース協会公認） 2 車いす競技 たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園内）～ 嵐山（6.1km）	同左
スタッフ数	約 13,900人	約 14,200人
応援人数	約 385,000人	約 427,000人
おこしやす広場 入場者数	約 17,000人	約 24,200人

2 各取組の概要及び実施結果 （☆は新規、○は拡充）

(1) 競技運営

・より安心・安全かつ円滑な競技運営に向けて、各種対策を実施強化。

取組	概要・実施結果
ア 走路対策	・積雪・凍結時に備え、除雪車等を確保
イ ランナー対策	・雨天・防寒対策として、簡易ポンチョを配布 ・ランナーの防寒衣類をスタート後に回収、リユース・リサイクル →940kg 回収（前回 810kg）
ウ 医療救護対策	○新型コロナウイルス感染症対策 (6)参照 ・京都府医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築（AED135台を配備） ・コース沿道でのAED 配備施設に協力を依頼 ・救命講習を受けたランナー・ボランティアを対象にファーストエイドサポーターを募集→23人登録（前回 158人）

	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の救護応急拠点となる「高度救急救護車」を配備 ・各救護所に多言語指差しボード（ランナーが各症状を指差す）を配備 ・救護件数 333 件（前回 284 件）、救急搬送 8 件（前回 8 件）※AED 不使用
エ 警備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察と連携した会場等巡回等を実施
オ ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの人材育成と裾野を広げるため、個人ボランティアリーダーを配置 →31 人参加（前回 38 人） ・スポーツへの関心を育み、支え合う精神を養うことを目的に、「ファミリーボランティア」を募集（小学校 5 年生～中学生 1～2 人につき 20 歳以上の大人 1 人の組合せ、合計 60 名）し、スタート会場、給水所に配置 →45 人参加（前回 50 人）

(2) 交通総量抑制対策等

大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、様々な媒体を通して市民や事業者、観光客等への広報・周知を行い、緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行の確保に努めた。その結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん・チラシ・ポスター・歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告など多様な媒体を活用した周知 →市民・事業者・観光客等の御協力の結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生せず ・広域迂回・直近誘導対策等を実施 ・駅構内デジタルサイネージやバス停広告を掲載 ・ホームページ上で時間帯別の交通規制内容をコース図に表示 ・バス停の大型広告を掲出
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス無料乗車券の配布、路線バス利用促進を広報 →12,507 枚の利用（前回 11,610 枚） ・閉塞地において無料シャトルタクシーを運行 →8 路線で実施、967 人が利用（前回 989 人）
ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察・消防局等と連携したランナーストップ体制を配備 →傷病走者搬送のためランナーストップを 1 回実施（搬送後速やかにレース再開） ・消防指令センターと京都府警察本部の専用回線の設置及び人員配置等により、緊急車両通行時の連絡体制を確立

(3) 沿道住民合意形成

コース沿道等の住民・事業者に対し、チラシ等を各戸配布し、きめ細やかに情報提供を行うとともに、「固定式島方式」の設置等によるコース横断対策や速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置した。

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道住民・事業者（128,000 世帯）へ交通規制マップ等を配布 ・市民しんぶんへの挟み込みや各施設等へチラシを配布
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナーの走行を妨げずに歩行者を横断させる「横断対策島方式」を設置（13 箇所）

	→11,759人が横断（前回比約2.3%減） ・ランナーの切れ目での横断誘導を実施
ウ 交通規制開始・解除	・速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置（8箇所） ・大会ホームページを通じ規制解除情報を逐次発表 ・関門閉鎖後の走路上のランナー等を速やかに歩道へ誘導するため、競技役員による指導の強化及び多言語対応のプラカード等を配備

(4) メインコンセプトの具現化、ランナーサービスなど

大会のメインコンセプトの具現化に努めた。また、地域各団体・市民の御協力の下、京都ならではの温かいおもてなしや応援等により、大会を盛り上げた。

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化	
(ア) 「DO YOU KYOTO?マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日を「ノーマイカーデー」に設定 ・水素カーを大会車両の一部に導入 ・リユースごみ箱（450個）の活用 ・給水・給食の未使用品をフードバンク、こども食堂等へ提供 ・使用済小型家電から抽出した金を使用したリサイクル金メダルを優勝者に贈呈 ・ボランティア・スタッフウェアを回収し、クリーニングのうえ、次回大会で再利用→5,922着回収（前回5,676着） ・看板等使用資材の再利用 ・給水の紙コップ削減を目的にオリジナルマイカップを導入→3,923個販売（前回3,338個） ・京都市「DO YOU KYOTO?」大使に任命 ☆参加案内・完走証のWEB化 ☆株式会社セブン-イレブン・ジャパンのペットボトル回収機の設置
(イ) 京から明日へ～始動～	☆感染症対策を徹底し安心・安全な大会運営を実施
イ ランナーサービス	
(ア) エントリー・ランナー受付	・各募集枠の設定（ボランティア経験者枠、連続落選者枠、京都市民枠、ふるさと納税枠）
(イ) 多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な案内看板を日本語・英語・繁体字・簡体字で表記 ・たけびしスタジアム京都のフルカラーLEDスコアボードを活用した多言語案内及び手話通訳
(ウ) スタート前	・市バス（京都駅→スタート会場）35台運行
(エ) フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナー参加案内で銭湯を紹介 ○「ポカリスエット」、「カロリーメイト」、「京都米おにぎり」、「宇治茶」、「茶の菓」を全ランナーに提供 ・シャトルバス（フィニッシュ会場→烏丸御池駅）35台運行
(オ) 京都ならではの おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・上位入賞者（1位～3位）のメダルリボンに京くみひも（一般男子・車いす）、京友禅（一般女子）を使用 ・完走メダルのリボンを京友禅柄で作成 ・コース周辺の観光名所案内サインを設置 ・京銘菓の提供

	(給食：「姫千寿せんべい（有機抹茶）」、フィニッシュ後：「茶の菓」)
(カ) 表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ランナー賞「京（みやこ）トップ8（エイト）」を設定 ・特別記録証の発行などランナーサービスを提供する「マラソンチャレンジカップ」に参加
(キ) コース	<ul style="list-style-type: none"> ・給水所でのティッシュの設置 ・ゴミ箱設置（約200m間隔）の周知による利用促進
ウ 応援、大会の盛り上げ	
(ア) 市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道盛り上げ隊（14箇所35団体）、市内19商店街による沿道応援 ・沿道盛り上げ隊の団体名及び内容を示す看板を設置 ・車いす競技フィニッシュ会場における東嵐会によるおもてなし ・SNSでの情報発信。完走メダルデザイン投票にも活用 ・ランナーの位置を地図上に表示するアプリ「応援navi」を活用
(イ) おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統産業ミュージアム」と連携し、京都の文化や技に触れていただけの展示・ブースを設置 <p>☆新型コロナウイルス感染症対策のためランナーのみ入場</p>
(ウ) 応援大使・ゲストランナー	<ul style="list-style-type: none"> ・3名が出走（フルマラソン：山中伸弥氏、原邦夫氏） （ペア駅伝：島袋勉氏） ・特別ゲストランナーとして福士加代子氏がペア駅伝出走 ・スタートセレモニー及びフィニッシュ会場での盛り上げ、沿道での応援

(5) 広報・放送実績

ア 大会前	
(ア) 市民しんぶん 区版（1月15日号） 全市版（2月1日号）	交通規制時間や路線バス・無料シャトルタクシー運行情報等を周知 特別ゲストランナー「福士加代子さん」からのメッセージとノーマイカーデー周知
(イ) 一般紙 （京都新聞等）	（京都新聞朝刊）7月31日（日）ランナー募集広告 （産経新聞朝刊）12月10日（土）ふるさと納税、大会告知広告 （京都新聞朝刊）2月16日（木）直前特集
(エ) ラジオ （α-STATION）	交通規制告知スポットCM（2月4～18日）、20日前から1日前までカウントダウン告知放送 2月18日（土）14:00～19:00 おこしやす広場から公開生放送
イ 大会当日（2月19日（日））	
(ア) テレビ （KBS 京都）	8:30～9:25 スタートの様子（生中継） 12:30～13:25 フィニッシュの様子（生中継） 21:00～21:55 大会ダイジェスト
(イ) ラジオ （α-STATION）	大会開催中2回、コース沿道からのレポート（生中継） 大会当日午前5時に大会の開催可否を放送（KBS 京都ラジオでも午前6時10分頃に放送）
(ウ) 一般紙 （京都新聞）	ノーマイカーデー及び感染対策周知広告
ウ 大会後	
(ア) テレビ （MBS 毎日放送）	2月23日（木・祝）10:30～11:30 大会ダイジェスト

(6) 新型コロナウイルス感染症対策

日本陸上競技連盟が示す「ロードレース開催についてのガイダンス」に基づき、以下の感染対策を施して大会を開催した。

取組	概要・実施結果
ア 基本的対策	<ul style="list-style-type: none"> ・原則マスク着用の徹底 ・各種入退場時及び各所での検温 ・手指消毒の実施 ・三密の回避、フィジカルディスタンスの確保 ・換気の徹底
イ ランナー受付	<ul style="list-style-type: none"> ・入場時の検温、手指消毒の実施 ・ナンバーカード引換証中面に記載の「体調管理チェックシート」に必要事項を記入の上、提出 ・サインによる各種感染対策の周知
ウ おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> ・入場時の検温、手指消毒の実施 ・飲食ブースは設置しない ・ランナー以外の一般入場は行わない ・長時間滞留しないよう呼びかけ
エ スタート会場(ペア 駅伝中継所含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・入場時の検温、手指消毒の実施 ・スタートブロックの拡張(ランナーディスタンスの確保) ・スタート時のマスク着用 先頭ブロックエリアは、スタート直前(1分前)までマスク着用。その他ブロックエリアは、スタートラインを超えるまで着用。 ・スタートセレモニーの簡素化
オ 競技中・コース上	<p>コース沿道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大声の発声、ハイタッチの自粛 ・感染状況により一般の沿道応援自粛を検討 <p>給水給食所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個包装や紙コップによる提供 ・机の間隔拡大等により、ランナーを分散 <p>トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用前、使用後における手指消毒の徹底(消毒液の設置) ・フィジカルディスタンス確保の呼びかけ等
カ フィニッシュ会場 (ペア駅伝中継所含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒の実施 ・フィニッシュ後のマスクの配布、マスク着用の呼びかけ ・接触を極力回避した方法での完走メダル、タオル等の提供 ・完走証をWeb発行に変更 ・業務上必要な声かけを可能な限り避けるため、必要事項は放送等でアナウンス

3 事業決算・経済効果等

(1) 事業決算

【収入の部】

- ・企業等への積極的な働き掛けにより、約2億5,461万円の協賛金を獲得したほか、参加料収入、おこしやす広場出展料など諸収入の確保に取り組んだ。

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引	備考
負担金収入	152,000	83,649	△68,351	・京都市からの負担金の減 決算額の内訳 toto 助成金 12,000 スポーツ振興基金 71,649 ※一般財源負担なし
協賛金収入	251,000	254,614	3,614	
参加料収入	329,000	335,689	6,689	
諸収入	10,000	21,269	11,269	オリジナルグッズ販売代金、出展料等
合計	742,000	695,222	△46,778	

【支出の部】

- ・物価、人件費高騰の中であつたが諸経費の削減に努めた結果、支出合計は約6億9,522万円となった。

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引	備考
大会運営費	324,000	315,042	△8,958	・スタート、フィニッシュ会場の事業規模縮小
安全対策費	260,000	239,416	△20,584	・河川敷等の荒天対策費の不要
広報・イベント 関係費	78,000	65,140	△12,860	・おこしやす広場等の事業規模縮小
エントリー ・記録関係費	60,000	57,836	△2,164	・参加案内、当日完走証のWEB化等による印刷物の削減
実行委員会 運営費	20,000	17,788	△2,212	・事務費等運営経費の節減
合計	742,000	695,222	△46,778	

※各区分において端数処理を行っているため、決算額の合計と合わない場合がある。

(2) 経済効果等

・京都市内における経済波及効果は、推計で総額約 43 億 8,000 万円（前回は 1 億 400 万円増）となった。

※ 開催事業費（約 6 億 9,500 万円）の約 6.3 倍

・市税増収効果は、推計で約 1.2 億円となった。

【経済波及効果の推計内訳】

■ 直接効果（約30億9,900万円）

□ 投資的支出 約 6億6,300万円（開催事業費のうち市内への投資額）

□ 消費支出 約24億3,600万円（ランナー・同伴者、沿道応援者、ボランティア等が使った宿泊費・食事代・買物代等）

+

■ 間接効果（約12億8,100万円）

直接効果により生産が増加した産業において需要増加を満たすために発生する新たな生産活動による効果を算定。

（ランナー・同伴者等の京都市内での飲食や土産物の購入による関連産業における生産の増加額、飲食料品や土産物の生産・販売増加等による関連産業の就業者の消費支出増加に伴う新たな生産の増加額等）

↓

総額 約43億8,000万円

【参考】経済効果等の推移

	経済波及効果	市税増収効果
第1回大会（2012年）	40億8,300万円	1億100万円
第2回大会（2013年）	35億4,600万円	8,700万円
第3回大会（2014年）	41億4,400万円	9,800万円
第4回大会（2015年）	45億9,400万円	9,900万円
第5回大会（2016年）	46億500万円	1億200万円
第6回大会（2017年）	49億100万円	1億900万円
第7回大会（2018年）	49億9,000万円	1億1,800万円
第8回大会（2019年）	51億5,900万円	1億2,000万円
第9回大会（2020年）	42億7,600万円	1億円
第12回大会（2023年）	43億8,000万円	1億2,000万円

※第10回、第11回大会はオンライン大会のため推計なし

4 京都マラソン 2023 おんらいん supported by オムロン・ワコール

(1) 日程

令和4年10月22日(土)～11月20日(日)

(2) 内容

コロナ禍が長引く中、運動不足・ストレスの解消、健康の維持・増進に役立てていただくとともに、ランニング初心者の方からフルマラソンの練習としても楽しめる、「いつでも、どこでも」自分のペースで走れるオンラインマラソンを実施。

(3) 参加状況

【全体】

定員	申込者数	参加者数	完走者数	完走率
3,000人	1,865人	1,857人	1,701人	91.6%

【地域別】

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2.4%	3.9%	18.6%	22.6%	38.6%	3.9%	3.8%	6.3%

※ 近畿38.6%のうち、京都府(京都市含む)21.5%、京都市17.3%

【男女比】

男性53.5% 女性46.5%

【年代別】

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
0.2%	2.2%	9.6%	31.8%	39.0%	14.3%	2.8%

5 二条城朝 RUN

(1) 日程

令和4年11月13日(日) 午前7時～8時45分

(2) 内容

世界遺産・二条城内で国宝や重要文化財などを眺めながらの朝ランを開催。唐門から二の丸御殿前・二の丸庭園、さらに今回は、クールダウンタイム限定で本丸エリア(ウォーキング指定)を散策できるようにした。

(3) 参加者数

40人(申込70人/定員100人)

【 2024 大会の概要 】

1 大会要項

大会名称	京都マラソン 2024 (英文名: KYOTO MARATHON 2024)
メインコンセプト	「DO YOU KYOTO?マラソン」 「みんなが主役」
趣 旨	1 市民スポーツの振興 2 京都の魅力を国内外に発信 3 京都・日本の活性化
主 催	京都市、一般財団法人京都陸上競技協会
共 催	京都市体育振興会連合会、京都新聞、KBS 京都、α-STATION
企画・運営	京都マラソン実行委員会
主 管	一般財団法人京都陸上競技協会
運営協力	京都障害者スポーツ振興会、京都市スポーツ推進指導員会、一般社団法人京都府医師会、一般社団法人京都私立病院協会、地方独立行政法人京都市立病院機構、公益社団法人京都府看護協会、京都府救急救命士会、京都橘大学、明治国際医療大学、京都市地域女性連合会、京都ランニング連合会 (予定)
後 援	AIMS (国際マラソン・ディスタンスレース協会)、公益財団法人日本陸上競技連盟、スポーツ庁、観光庁、京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、公益財団法人京都市スポーツ協会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、公益社団法人京都市観光協会、京都商店連盟、NHK 京都放送局、MBS テレビ、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、共同通信社京都支局、時事通信社京都総局、J:COM 京都みやびじょん (予定)
種 目	1 マラソン (42.195 km) 2 ペア駅伝 (1 区 27.6 km、2 区 14.6 km) 3 車いす競技 (6.1 km)
開催日時	令和 6 年 (2024 年) 2 月 18 日 (日) 8:55 車いす競技スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝終了 令和 5 年 (2023 年) 10 月 21 日 (土) ~11 月 19 日 (日) オンラインマラソン
定 員	1 マラソン 16,000 名 2 ペア駅伝 200 組 400 名 3 車いす競技 20 名 4 オンラインマラソン 3,000 名 ※ 主催者が推薦する競技者等を含む。
制限時間	マラソン・ペア駅伝 6 時間 ※ 制限時間は号砲を基準とする。
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 西京極総合運動公園をスタートし、平安神宮前にフィニッシュするコース (日本陸上競技連盟、ワールドアスレティックス及び AIMS (国際マラソン・ディスタンスレース協会) 公認コース) ※ ペア駅伝は府立植物園内を中継点とする。 2 車いす競技

	西京極総合運動公園～嵐山 3 オンラインマラソン 全国
時間制限関門	交通・警備、競技運営上、時間制限関門を設ける。 関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させることができる。 ※オンラインマラソンは設けない。
競技規則	2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
表彰	1 マラソン (1) 総合男女 各1位～20位 (2) 総合年代別男女(5歳刻み) 各1位～3位 (3) 京 ^{みやこ} トップ8 ^{エイト} 京都市民の男女各1位～8位 ※ (1)の9位以下及び(2)(3)は、表彰式を行わず賞状は後日送付とする。 ※ ペア駅伝の表彰は行わない。 2 車いす競技 1位～3位
参加資格	1 マラソン・ペア駅伝 ※車いすでの参加は不可 (1) 平成17年(2005年)4月1日以前に生まれた方 (2) 6時間以内に完走できる方 2 車いす競技 身体障害者福祉法(昭和24年法律283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた車いすの使用者(令和6年2月18日現在)で、京都障害者スポーツ振興会が推薦し、主催者が認めた方 3 オンラインマラソン 平成23年(2011年)4月1日以前に生まれた方
参加申込	インターネットにより受け付ける。 ※ 定員を超えた場合は抽選を行う。なお、オンラインマラソンは先着順
参加料	1 マラソン 国内 18,000円 海外 20,000円 2 ペア駅伝(1組2名) 31,000円 3 車いす競技 3,000円 4 オンラインマラソン 3,000円
ランナー受付	令和6年2月16日(金) 令和6年2月17日(土) ※ 大会当日(2月18日)の受付は行わない。 ※ 受付時に身分証明書等による本人確認を行う(代理受付不可)。 会場:京都市勧業館 みやこめッセ
その他	1 日本陸上競技連盟の「ロードレース開催についてのガイダンス」に基づいて感染症対策を実施する。 2 出走は、大会参加申込者本人に限る(代理出走の禁止)。 3 仮装して参加することは認めない。また、大会会場及びコース上において、会社名、商品名等を意味する図案及び商標等の広告的なものを身に着けたり、表示することを認めない。 4 京都市スポーツ振興基金への寄付金を任意で受け付ける(一口500円)。

2 ランナー募集要項(骨子) ランナー募集要項は7月14日(金)発表予定

(1) 募集期間

令和5年7月20日(木)～8月31日(木)

(2) 募集枠

ア マラソン・ペア駅伝(定員:マラソン16,000人、ペア駅伝200組400人)

(ア) ボランティア経験者枠(マラソン100人)

(イ) 京都市民枠(マラソン1,100人、ペア駅伝50組100人)

(ウ) サブ3.5・サブ4応援枠(マラソン500人)

(エ) ふるさと納税枠(先着・マラソン780人、ペア駅伝10組20人)

イ 車いす競技(定員:20人)

※ア(ア)～(ウ)の優先枠に落選した方は自動的に該当する他の枠の抽選に回る。

ただし、申告が必要な「ボランティア経験者枠」と「サブ3.5・サブ4応援枠」との重複抽選は行わない。

(3) 参加料

※前回大会と同額

種目	2024大会
マラソン(国内)	18,000円
マラソン(海外)	20,000円
ペア駅伝	31,000円
車いす競技	3,000円

3 オンラインマラソン

(1) 募集期間

令和5年7月20日(木)～10月11日(水)(先着順)

(2) 実施日

令和5年10月21日(土)～11月19日(日)

(3) 参加料

※前回大会と同額

オンラインマラソン	2024大会
国内ランナー	3,000円